

○事業所名	放課後等デイサービスまほら。（はなえみ。）			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (15)	(回答者数)	21 (14)
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋が広く、数もある為、のびのびと遊びや活動を行うことができること。	集団遊びや身体を動かす遊びの際は大きな部屋、小集団や静かな遊びができる部屋、安心して落ち着いて過ごすことのできる個室など用途や子どもたちの特性に合わせた活動を行っていること。	子どもたちが安全に楽しく遊べるように、危険個所の点検を随時行う。新しい遊具や玩具の購入を検討。
2	様々なイベントを実施し、いろいろな経験を積むことができること。	いろいろな場所への外出や買い物体験、バスや電車の利用、地域の会社に依頼しての職場体験、保健師さんによる性教育、歯科検診などいろいろな体験活動を提供していること。	生活スキルや社会性の向上のためイベントを計画。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共有ができていること。	電話や連絡帳だけでなくLINEを用いて保護者の方が時間を気にせず気軽に連絡が取れるようにしていること。	モニタリングの面談以外にも、送迎時など日頃から様子や困りごとを共有している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が希薄であること。	保護者が参加できる行事が少ないこと。	保護者が参加できる行事を企画する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が少ないこと。	下校後は地域の公園で活動したり、学校休業日は地域のイベント等に参加し交流の機会を提供をしているがその機会が少ないこと。	地域のイベントや交流の機会を調べ、より多くの機会を提供する。
3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が十分ではないこと。	事業所内に段差があり車いすでは職員の介助がないと移動できない場所があること。	スロープ等の設置の検討。移動をしなくても活動できるよう内容を工夫する。